

令和 6 年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	15	学 校 名	静岡県立御殿場南高等学校	校 長 名	渡辺 洋介
------	----	-------	--------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【達成状況は学校評価アンケートの集計結果(%) 上段は生徒、下段は保護者、() は昨年度の割合】

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	学校生活の様々な場面で、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての目的を達成できるような指導を工夫する。	・南高に入学して充実した高校生活を送っている。 90% ・自ら率先して行事・活動に取り組み、他者と目標を共有し、支援できる。 80% ・県・東海・全国大会への出場	90.8 (89.3) 88.4 (88.9) 77.2 (73.9) 82.1 (80.9)	A	・部活動でも多くが県大会に出場できた。 ・一日一日の学校生活の積み重ねや、一つ一つの行事に主体的な取り組みをすることができた。概ね充実した学校生活を送っている。 ・学校行事に意欲的に参加し、概ね充実した学校生活を送っている。
イ	教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させ、困難なことにも挑戦する姿勢や、折れない力の育成を目指す。	・将来の進路に基づき、今行うことを考えて、進路に向けて積極的に行動できる。 90% ・自ら課題を設定し、情報を収集・分析しながら、探究する態度が身についている。 90% ・苦手や困難に直面しても、最後まで取り組み続けることができる。 90%	81.8 (82.8) 68.0 (68.5) 91.5 (89.6) 69.0 (69.5) 87.6 (86.4) 82.4 (83.6)	B	・1年生の文理選択及び2年生の科目選択説明会を例年より前倒して実施し、進路についてより考える機会を設けることができた。 ・生徒がどのようにして進路を決定しているのか、そのプロセスについて保護者の理解が得られていないため、低い数値になっていると思われる。 ・次年度に向けた文理選択と探究活動において地域の産業や行政の実態を調べ、将来の進路を考える機会とした。それを踏まえて東京都立大学を訪問し大学でどのような学びができるのかを調べ、進路意識を高めた。 ・キャリアプラン表明書を作成する過程で、自分の将来について深く考えている。 ・3年生として、学習や進路実現に対する意識が向上し、講習や勉強合宿等に意欲的に参加した。
ウ	「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習における ICT 機	・学習の基礎・基本が定着し、基盤となる資質・能力が身についている。 95% ・全国水準を上回る学力を身につける。 ・国公立大学現役合格者数 40 名以上 ・家庭学習時間 1 日平均 2 時間以上 ・教科学習における ICT 機器の効果的活用	92.0 (90.2) 77.2 (75.1) 80.5 (77.8) 81.5 (74.7)	B	・全学年が新課程へ移行したことで、全ての学年で観点別学習状況の評価をもとにした、授業の評価及び改善へつなげることができた。 ・国公立大学合格者数は順調に伸びているが、学習時間は減少傾向にある。研修などの機会を作り、本腰を入れて改革を行うときが近いと感じられる。 ・新課程に対応した個別最適な学びと協働的な学びを目指し、生徒の学

様式第3号

	器の効果的な活用を一層推進する。				習における ICT 機器の活用を研修し、各教科で実践した。 ・一人一台端末を効果的に利用し授業を展開し、週課題、小テストなどを通して学力の定着に努めた。より学力を向上させるために、家庭学習時間の確保が必要である。 ・模試の結果は全国水準とほぼ同程度となっている。1日の平均学習時間が過年度と比較して少ない教科もある。
エ	品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、自他ともに大切にすることの心身の健康や安全、防災についての意識を高める。	・校則やルールを理解し、自分で遵守するだけでなく、他人にも啓発にできる。90% ・時間的自己管理ができ、けじめある生活を送り、生活リズムができている。80% ・部活動後の速やかな下校、完全下校時間の厳守 ・スマホ使用時間調査等による自己管理能力の育成	90.8 (89.8) 83.6 (84.6) 77.7 (76.6) 63.7 (62.5)	A	・生徒心得を周知し自律した生活を送ることができている。完全下校の厳守はできているものの、スマホの使い方には課題を感じる。 ・初期指導と継続的な指導を学年で連携して取り組むことができた。スマホ利用については更なる啓発を促し、学習時間の確保や自己管理能力を高めることに繋げる必要がある。 ・校則やルールを守りけじめのある学校生活ができている。 ・ルールを守り、けじめと思いやりのある学校生活ができている。
	健康教育、交通安全教育を推進する。 防災教育を実施する。	・健康や体力の向上に努め、健やかな心身を意識して自己を管理している。90% ・生活や交通安全、災害に、配慮して活動できる。90%	92.0 (90.2) 80.8 (80.4) 94.9 (94.8) 90.3 (89.9)	A	年4回の防災訓練だけでなく、今年は職員対象の研修も行い、防災に対し、学校全体の意識が高まった。 ・自転車通学者の登下校中の事故が数件あったので、安全意識を高めた。また、ヘルメット着用の推奨も進めたい。
オ	SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。	・自らの意見を述べ、他人の意見と調整し、自分の意見を発展させることができる。90% ・1部活動1ボランティア（地域交流活動）	89.0 (89.6) 79.3 (78.1)	A	・総合的な探究の時間を通して、地域の探究的な学びを推進し、生徒の主体性や協働力を高めることができた。 ・推薦入試の合格率の高さは、Cプロジェクトによるところが大きく、それを支えるものとして探究活動が大きな効果を果たしていると思われる。 ・1部活1ボランティアをほとんどの部活で実施できた。主体性を持って意見の発展ができるようにしたい。 ・探究活動を通して他者と協働した学習活動を発表に繋げるスキルを身に付けることができた。 ・ボランティアや探究学習に積極的に取り組んだ。

様式第3号

					・特別活動や部活動を通し、概ね目標を達成できた。
		・文化・芸術に触れることで、視野を広げ、教養を深める。 85%	81.8(81.4) 62.7(61.7)	B	・芸術鑑賞会ではゴスペル音楽についての教養を深めることができた。 ・芸術鑑賞会やかたるた大会を通して教養を深めた。 ・音楽の芸術鑑賞会は好評であった。 ・鍾馭祭文化の部や芸術鑑賞教室などを通し、文化・芸術に親しむことができた。
カ	自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。	・家庭、地域との繋がりを理解し、他者と連携して社会に尽くしていこうとする。 85%	84.8(82.8) 70.5(71.0)	B	・PTAの事業や組織を見直しコンパクトな運営になったが、特に問題もなく、総会や奉仕作業等の出席率も前年を上回ることができた。また、行政や地域自治体と防災について協議することができた。 ・探究活動を通じて、地域企業の方々と継続的に関わり、地域の課題を知り、解決策を考えることができた。 ・探究学習の活動中心に、様々な機関と連携していた。 ・3年生になり探究としての取り組みは少なかったが、行事等は概ね良好であった。 ・市議会議員交流を実施した。ホームページを新しくし、学校の情報をより分かりやすく発信できるようにした。静岡大学に2年生が、都立大学に1年生が、大学訪問を行った。
キ	環境整備や業務改善を図りながら、生徒の公共心や教職員の意欲・組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。	・公共物や施設、環境に気を配り、清掃・整理など積極的に環境を整える。 95% ・定期点検月1回、随時点検	93.1(93.4) 80.3(78.1)	B	・清掃や用具の管理など計画的に実施することができた。 ・廊下、階段等は水拭きによる清掃を日常的に行い、校内の環境美化に努めた。施設設備の破損等で工事が必要な箇所については、予算要求を行い、施設設備の改善に努めた。
		・補習、部活動における外部人材による支援を広げる。 ・分掌・学年部の業務ファイルの作成を進め、引継を円滑化		B	・「補習等のための指導員派遣事業」を活用し、面談指導等を行った。部活動において8名（運動部5名、文化部3名）の方に外部指導員として、指導に当たっていただいた。